

kanamoto ■ カナモトエグザミネー

examiners

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.108

第60期(2024年10月期)第2四半期号

イベントレポート

第6回建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO2024)に出展しました。

2024年5月22日～24日、幕張メッセ（千葉市）で開催された第6回建設・測量生産性向上展（CSPI-EXPO2024）に、当社は連結子会社であるユナイト株式会社と共同出展いたしました。建設・測量分野の最先端の製品・技術・サービスが集結する当展示会には、海外メーカー85社を含む過去最多の455社が出展、延べ47,000人超の来場者があり、当社ブースにも連日多くの方にお立ち寄りいただきました。

当社は屋内外の両会場にブースを出展し、建設DXやICT施工など「現場の安全性・生産性向上」をサポートする最新製品の展示やプレゼンテーションを実施するなど、おかげさまで大盛況のうちに終わることができました。

今後も建設業界の課題解決を支援できるよう技術向上に努めてまいります。



主な展示製品

株式会社カナモト

- 3Dマシンガイダンスシステム「Hemisphere Japan GradeMetrix」
- 自動追尾型3Dマシンガイダンス「E三S」
- ICT地盤改良システム
- 建設機械遠隔操縦システム「KanaTouch」
- AI歩行者検知カメラ
- 荷台・バケットの土砂・粘性土付着防止材 など



当社の屋内ブースに設置した建設機械遠隔操縦システム「KanaTouch」の体験コーナー



土砂・粘性土付着防止材などを展示した当社の屋外ブース

ユナイト株式会社

- ICT路面切削管理システム「施工履歴」
- 追突防止補助装置「U-Stoppen」
- 切削材積込管理システム
- 3Dモーターグレーダ マシンコントロールシステム
- ムービングオフィスカー など



U-Stoppenなどを展示したユナイトの屋内ブース



切削材積込管理システムなどを展示したユナイトの屋外ブース

Future Technology カナモトの未来技術

配管内減肉検査ロボットUltra Sooha

カナモトが注力する新興技術をご紹介します。

人工筋肉ミミズ型ロボットに、フレキシブルな超音波センサーを搭載した配管内減肉検査ロボットです。

従来技術では困難だった小口径配管内（内径100mm以下）の自律走行や90度の曲がりが多い配管内や垂直方向の走行が可能であり、これまで確認できなかった配管内の状態を把握することが可能となります。

従前から日本の安全・安心の確保に取り組んでいる当社は、大学発のスタートアップ2社（ソラリス：中央大学、CAST：熊本大学）が開発した、人工筋肉を用いたミミズ型ロボットにフレキシブル超音波センサーを搭載した「配管内減肉検査ロボット」の普及を支援しています。高度成長期に建造された上下水道やガス導管といったインフラ配管や工場やプラント、ビル・マンション・学校などの配管の老朽化が進んでおり、その課題解決に向けた世界的にも類を見ないアプローチです。カナモト、ソラリス、CASTの3社は、建設・インフラ分野でのUltra Soohaの社会実装を目指し、協働開発パートナーを広く募集しています。

第60期第2四半期決算の概況 [2023年11月1日～2024年4月30日]

● 連結経営成績 (累計)

括弧内の数字は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率(%)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第60期第2四半期	100,681 (3.5)	6,188 (16.2)	6,456 (17.6)	3,623 (23.9)	101.50
第59期第2四半期	97,268 (3.8)	5,327 (△24.9)	5,488 (△26.4)	2,924 (△35.6)	80.23

● 連結業績予想 (累計)

第60期通期	205,300 (4.0)	14,100 (17.9)	14,300 (14.5)	8,300 (23.5)	232.52
--------	---------------	---------------	---------------	--------------	--------

[経営環境]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、各種政策の効果もあり緩やかな回復がみられる一方で、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念などの海外景気、円安や物価上昇による影響、中東地域情勢や金融資本市場の変動等による下振れリスクを注視する必要があるとあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は堅調な推移が見込まれ、民間投資では設備投資の持ち直しの継続が期待されますが、供給面では、建設資材・エネルギー価格の高止まりや労務費の上昇に加え、労働規制強化及び担い手不足進行等の懸念材料もあり、引き続き予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、中期経営計画「Creative 60」(2020～2024年度)の最終年度を迎え、次期中期経営計画の基盤形成に向けた体制構築に注力いたしました。一方、レンタル単価の適正化による収益構造の改善や需要動向を見極めたレンタル用資産の適正配置を積極的に実施するなど、持続的な企業価値創造へ向けて取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は1,006億81百万円(前年同期比3.5%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は61億88百万円(同16.2%増)、経常利益は64億56百万円(同17.6%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億23百万円(同23.9%増)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

主力事業である建設関連におきましては、国内の建設投資は底堅く推移しており、地域差はありますが、全体として建設機械のレンタル需要も堅調さを取り戻しております。

また、当社グループでは、現場の省力化・効率化、安全対策および環境対策等に適応する技術の開発や導入に加え、多発する自然災害や各種大型プロジェクトへの対応力強化に向けた体制構築を推進いたしました。

中古建機販売につきましては、レンタル用資産の運用期間の延長を進めつつ、適正な資産構成を維持するため、期初計画に基づき売却を進めていることから、売上高は前年同期比2.6%増となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は908億15百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は54億50百万円(同20.9%増)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報関連、福祉関連ともに好調に推移したことから、売上高は98億66百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は4億73百万円(同16.0%減)となりました。

■ 連結財務諸表

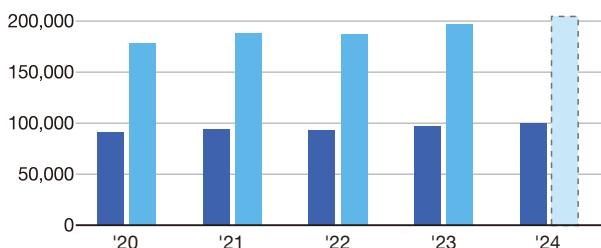
四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)	第59期第2四半期 (2022.11.1~2023.4.30)	第60期第2四半期 (2023.11.1~2024.4.30)
① 売上高	97,268	100,681
売上原価	69,794	71,957
売上総利益	27,473	28,724
販売費及び一般管理費	22,145	22,535
② 営業利益	5,327	6,188
営業外収益	391	509
営業外費用	230	242
③ 経常利益	5,488	6,456
特別利益	76	20
特別損失	184	81
税金等調整前四半期純利益	5,380	6,395
法人税、住民税及び事業税	1,925	2,237
法人税等調整額	88	112
四半期純利益	3,366	4,044
非支配株主に帰属する四半期純利益	441	421
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	2,924	3,623

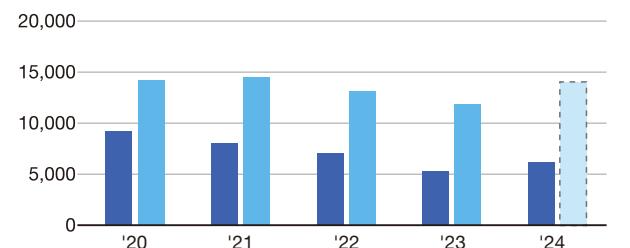
四半期連結包括利益計算書(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)	第59期第2四半期 (2022.11.1~2023.4.30)	第60期第2四半期 (2023.11.1~2024.4.30)
四半期純利益	3,366	4,044
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	277	802
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	△ 549	260
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	△ 268	1,066
四半期包括利益	3,097	5,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,649	4,680
非支配株主に係る四半期包括利益	448	430

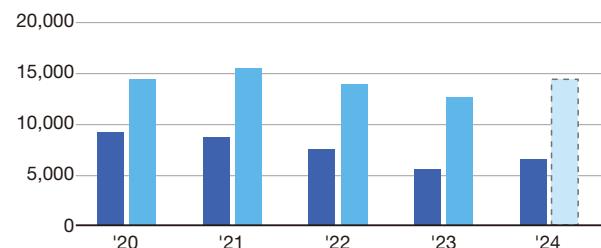
① 売上高



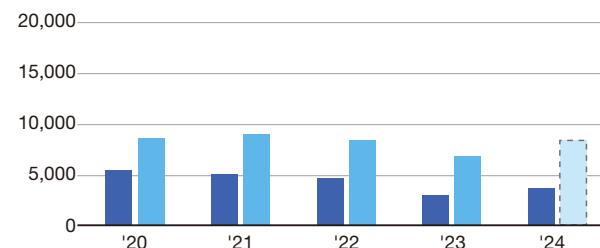
② 営業利益



③ 経常利益



④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第59期 (2023.10.31)	第60期第2四半期 (2024.4.30)
(資産の部)		
流動資産	120,298	118,461
固定資産	196,141	196,688
有形固定資産	173,977	174,315
無形固定資産	5,778	5,386
投資その他の資産	16,386	16,986
資産合計	316,440	315,149
(負債の部)		
流動負債	87,624	84,736
固定負債	85,139	85,089
負債合計	172,763	169,825
(純資産の部)		
株主資本	129,198	129,348
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,432	19,400
利益剰余金	97,842	100,023
自己株式	△ 5,906	△ 7,906
その他の包括利益累計額	5,296	6,354
其他有価証券評価差額金	2,983	3,778
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	2,343	2,603
退職給付に係る調整累計額	△ 30	△ 28
非支配株主持分	9,181	9,622
純資産合計	143,677	145,324
負債純資産合計	316,440	315,149

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第59期第2四半期 (2022.11.1~2023.4.30)	第60期第2四半期 (2023.11.1~2024.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,192	23,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,560	△ 1,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,234	△ 17,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 79	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,317	5,172
現金及び現金同等物の期首残高	47,047	45,093
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	731	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,096	50,266

とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送していただいた方のなかから、抽選で50名様にノベルティグッズをお贈りいたします。

今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルエコバッグです。ボタン付きのマルチバンドでコンパクトに折り畳めるため、持ち運びに便利です。深みのあるネイビーでシンプルなデザインとなっており、ちょっとしたお買物などにお使いいただけます。

小さく畳める
ポケットブル



サイズ: 約W280×H550mm

ご応募の締め切りは2024年8月2日(金)当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

配当の状況

	年間配当金(円銭)				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
第59期	—	35.00	—	40.00	75.00
第60期	—	35.00	—	—	—
第60期(予想)	—	—	—	40.00	75.00

2Q 2024.2

- 電動二輪車向けバッテリー交換ステーション「Gachacoステーション」設置について発表

2024.3

- 一般社団法人 ロコソラーレとスポンサー契約を締結
- 第60期(2024年10月期)第1四半期決算発表
- 土砂運搬可視化システムの導入について発表
- 無人レンタカー「フルタイム・レンタルサービス」の開始について発表
- 自己株式の取得状況および終了について発表

2024.4

- グループ合同入社・新入社員研修を実施(新入社員は79名)
- 株式会社加藤製作所と被災地支援策の一環として「ショベルカー無償教習in金沢」を開催
- 現場の各作業の工数を減らすため事前に準備する【前始末】をもとにした新商材の取り扱いを開始
- 当社の遠隔操縦システムKanaTouchによる地盤改良施工機の遠隔操縦が可能なことを実証(実証実験)
- PT KANAMOTO INDONESIA(非連結子会社・インドネシア共和国)の本社が移転

3Q 2024.5

- 株主優待品一部変更について発表
- 第6回建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO2024)に出展(幕張メッセ)
- 一般社団法人 日本建設機械レンタル協会設立50周年記念式典で感謝状を授受

2024.6

- 第60期(2024年10月期)第2四半期決算発表、機関投資家向けオンライン説明会を実施
- 社員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分について発表

株主優待品一部変更のお知らせ

株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝と、より多くの株主様に当社株式を継続して保有していただきたいとの考えから、株主優待制度を実施しております。

(2023年10月末基準)

保有株式数	継続保有期間	優待内容
500株以上1,000株未満	継続1年以上	2,000円相当の北海道商品
1,000株以上	継続1年以上3年未満	4,500円相当の北海道商品
1,000株以上	継続3年以上	8,800円相当の北海道商品

(2024年10月末基準以降)

保有株式数	継続保有期間	優待内容
500株以上1,000株未満	継続1年以上	2,000円相当の北海道商品
1,000株以上	継続1年以上3年未満	5,500円相当の北海道商品
1,000株以上	継続3年以上	8,800円相当の北海道商品

保有株数および保有期間につきましては、同一株主番号であることを確認すると共に、各四半期末時点(1月末、4月末、7月末、10月末)の保有株数(500株以上もしくは1,000株以上)を確認させていただきます。

※「保有株式数1,000株以上かつ継続1年以上」とは、各四半期末時点(1月末、4月末、7月末、10月末)の株主名簿で同一株主番号であることを確認すると共に各時点における保有株式数が全て1,000株以上の株主様が対象となります。

保有株式数500株および継続保有期間3年以上も上記と同様の考え方となります。

商品例



500株以上1,000株未満
継続1年以上(*)保有
2,000円相当の北海道の商品

1,000株以上 継続1年以上(*)
3年未満保有
5,500円相当の北海道の商品



1,000株以上 継続3年以上保有
8,800円相当の北海道の商品

詳しくは当社ホームページをご覧ください→

※次回(2024年10月末日基準)の株主優待送付分から適用いたします。



会社概要 (2023年10月31日現在)

商号	株式会社力ナモト (英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964 (昭和39) 年10月28日
資本金	178億29百万円 (払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所プライム市場・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	38,742千株
連結売上高	1,974億81百万円 (2023年10月期)
連結従業員数	3,910名 (役員、嘱託、臨時社員を除く)

役員 (2024年4月30日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	金本 龍男*		生島 典明
	橋口 和典*		石若 保志
	三野宮 朗*		竹内 巖
	渡部 純*	執行役員	熊谷 浩
	廣瀬 俊*		問谷 悟
	山下 英明*		佐藤 信幸
	内藤 進		中谷 秀樹
	有田 英司		田中 誠一
	米川 元樹		渡辺 光郎
	田端 綾子		小野田 隆司
	大川 哲也		山根 恵司
			伊藤 徹
			藤原 靖仁

(注) 1. *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
2. 取締役内藤進氏及び取締役有田英司氏、取締役米川元樹氏、取締役田端綾子氏、取締役大川哲也氏は社外取締役であります。
3. 監査役生島典明氏及び監査役石若保志氏、監査役竹内巖氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。

<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

証券代行部	〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
証券代行部	〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 電話 0120-232-711

株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート (週足)

単位: 円





本誌は、ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **カナモト**

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19 Tel:(011)209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7 Tel:(03)5408-5600

<https://www.kanamoto.co.jp>
(証券コード9678)



ウィリーズロック(フィリピン ボラカイ島)